

## 地域で子どもを見守り育てる 博多区板付校区自治協議会 子どもが地域活動に参加する

### 「子どもを守ろう隊」

#### 活動内容

- ・毎週火曜日を「子どもを守ろう隊」の日と定め、各町内でお揃いの黄色のウインド・ブレーカーを着ての子どもの下校を見守り、定期的に青パトで校区内を巡回しています。

#### メンバー

- ・校区の有志約100人。

#### 感想

- ・“私の町内は毎日活動していますが、毎日登下校を見守っていると、子ども達から元気をもらいます。”
- ・“姿を見ないと、あの子病気かな…?”と思います。

#### 今後の目標

- ・毎日が「子どもを守ろう隊」の日になれば…。楽しみです。



下校時の見守り

### 「小・中・高校生ジュニアリーダー」

#### 活動内容

- ・校区の子ども会行事は小・中・高校生のジュニアリーダーが運営しています。さらに中学生チーフリーダーがジュニアリーダー全体をまとめています。学年をこえた活動を通して地域に役立つ人材を育てています。
- ・中学生ジュニアリーダーの提案で校区内清掃を毎月第4土曜日に小学生と一緒にこなっています。
- ・校区の体育祭・文化祭にも積極的に運営のお手伝いをしています。

#### メンバー

- ・小学生ジュニアリーダー 45人と中学生ジュニアリーダー 28人高校生ジュニアリーダー 8人の合計81人。

#### 感想

- ・中学生ジュニアリーダーを立ち上げて6年目。年を経るごとにリーダーとして成長していて指導者一同感心するばかりです。

#### 今後の目標

- ・活動の中で各人視野を広げ、リーダーとして更なる向上を目指しています。



校区内清掃後にジュニアリーダー指導によるごみの分別



ジュニアリーダーが校区体育祭に運営スタッフ補助として参加



## 美和台校区に『コミュニティバス』登場

平成 24 年 2 月 27 日社会実験スタート!! 朝夕：通勤・通学 } が便利に  
 昼間：買物・通院 }

美和台校区は、発足して40年になる町ですが、緑に恵まれた風光明媚な地域です。しかし、近年、高齢化が進み65歳以上の人が3,500人を超え、高齢化率では22.3%に達しています。しかも、坂が多い地域であり、高齢者や乳幼児をお持ちの家庭では、病院や買物に行くことの不便さや苦労が見受けられるようになりました。

そこで、美和台校区自治協議会では、全世帯を対象に平成22年5月と11月に2回のアンケート調査を実施し「コミュニティバスが今必要や将来必要」との回答が約90%寄せられ、関心の高さが分かりました。この結果を受けて、平成23年7月に「美和台校区コミュニティ



発車式の様子

交通推進委員会」を設置。バス運行の実現をめざして委員会を10数回開催し、バスのルートやバス停の位置について協議を行い、近隣居住者への協力をお願いに回りました。アンケートで回答された金額や他地域の状況等を参考に、採算ベースも考慮しながら運賃を決定し、3か月の社会実験がスタート。本稼働に移行させるためには、多くの皆さんに利用してもらうことが必要です。今後は、コミュニティバスを生活の優しい足として定着させるために、ポスターの掲示やチラシの全世帯配付、公民館を中心に中学生の演奏や模擬店のプレイベントを開くなど、校区挙げて周知に努めていく予定です。



運行プレイベント“地上絵&キャンドルライト”

## 中央区草ヶ江校区自治協議会

(草ヶ江校区人権尊重推進協議会)

## ひとはみんなのために、みんなはひとりのために

草ヶ江校区人権尊重推進協議会は、人権問題の取り組みとして、はじめて、草ヶ江校区自治協議会と共催で、平成24年1月21日に、草ヶ江小学校で、福岡大学附属若葉高校ダンス部の公演会を開催しました。

昨年の中央区人権を尊重する市民のつどいで「もっと多くの方々に人権問題についての取り組みを知ってもらうことが必要」との声があがったことをきっかけに「校区全体で取り組めることはないか」と考え、今回の企画が実現しました。

多くの住民に人権問題をもっと身近に感じてもらうために、福岡大学附属若葉高校ダンス部に「ひとはみんなのために、みんなはひとりのために」をテーマとして、ダンス公演を依頼しました。

また、校区内の多くの団体や小中



学校に協力してもらい、ポスターやチラシの作成・配布、会場の準備や清掃、音響機器の運搬など、公演に向けての準備を進めました。急な依頼だったにも関わらず、快く引き受けてくださり、校区をあげての取り組みになったと思います。



当日は、天候にも恵まれ、200名を超える参加がありました。世界一を誇る若葉高校の演技と、顧問の先生の「みんなが主役、お互いに学びあい声をかけあって演じています。」という温かいコメントに参加者一同、胸を熱くしました。

今後も校区の取り組みとして、「ひとはみんなのために、みんなはひとりのために」が根付いていくような人権活動を継続していきたいと考えています。

今後も校区の取り組みとして、「ひとはみんなのために、みんなはひとりのために」が根付いていくような人権活動を継続していきたいと考えています。

## 海に生きる大海族のしまづくり

～島ぐるみで進める、自慢と元気と島愛にあふれるしまづくり～

小呂島は、姪浜渡船場から北西へ約40km、周囲約3.5kmの玄界灘にポッカリ浮かぶ孤島です。島の世帯数は、約60世帯、人口200人余りで漁業を中心に生計を維持しています。島内には、夏の「小呂山笠」をはじめ無病息災と大漁を祈願した「万年願」や「おくんち」などの祭りもあり、島民上げて賑わいます。しかしながら、近年、漁獲量の減少や価格の低迷、少子・高齢化に伴う後継者不足など、島民に危機感が生じています。



このため、島内の若手グループを中心に「島づくり計画」を作成することとなり、平成23年



6月からワークショップ等を開催しています。平成24年1月には、島民約100名が集い

報告会が開催されました。小呂島の最大の魅力であり、生きる糧である天然の資源を活かした「漁から広げるしまづくり」など、目標を設定した「島づくり計画」の報告がされました。

当日は、地域活性化伝道師の中澤さかな氏の魚のブランド化の講演もあり、大変盛り上がりました。今後、若手グループがリーダーとなり、具体的な活動が推進されていく予定です。

### URL 一覧

○校区や地域の情報を、福岡市のホームページの各区役所のページに掲載しています。

- 東区（東区＞地域情報（校区・公民館））  
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/higashi/hi-chiikijouhou/ichiran.html>
- 博多区（博多区＞生活情報＞コミュニティ・地域の活動・公民館）  
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/hakata/ha-seikatsujouhou/comm-chiikikatsudou-kouminkan.html>
- 中央区（中央区＞中央区の魅力・観光情報＞校区・地域の情報）  
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/chuo/miryoku-kanko-kankoujouhou/kouku-chiikijouhou.html>
- 南区（南区＞南区の魅力・イベント＞校区の魅力）  
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/minami/mi-miryoku-event/koukunomiryoku.html>
- 城南区（城南区＞地域・公民館）  
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/jonan/chiiki-kouminkan/index.html>
- 早良区（早良区＞早良区の魅力＞校区・地域の情報）  
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/sawara/sa-miryoku-event/kouku-chiikijouhou.html>
- 西区（西区＞生活情報＞地域コミュニティ・公民館情報）  
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/nishi/ni-seikatsujouhou/comm-kouminkanjouhou.html>

○福岡市コミュニティ通信は、福岡市のホームページに掲載しています。

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/lifeinformation/comm-volunteer-npo/index.html>

（生活情報＞コミュニティ・地域の活動・NPO・ボランティア＞コミュニティ・地域の活動＞福岡市コミュニティ通信）

○J:COMが福岡の地域情報を発信しています。

・J:COMチャンネル 福岡エリア <http://www.myjcom.jp/tv/channel/fukuoka.html>

・市民チャンネル「ふくおかまいCOM」 <http://www.myjcom.jp/tv/channel/fukuoka/mycom.html>

### お問い合わせ・地域の情報などはこちらまで

●東区役所地域支援課  
TEL 645-1041 FAX 645-1042  
●博多区役所地域支援課  
TEL 419-1048 FAX 452-6735

●中央区役所地域振興・支援課  
TEL 718-1062 FAX 714-2141  
●南区役所地域支援課  
TEL 559-5072 FAX 562-3824



●城南区役所地域支援課  
TEL 833-4062 FAX 822-2142  
●早良区役所地域支援課  
TEL 833-4416 FAX 851-2680  
●西区役所地域支援課  
TEL 895-7036 FAX 882-2137

## 南区宮竹校区

宮竹校区自治協議会

緒方 速雄 会長

(みやたけ会会長)



- ①宮竹校区は、南区の南東部に位置し博多区の一部(諸岡三丁目)を含む世帯数約8,000世帯、人口約16,000人が住む地域です。東に鹿児島本線(笹原駅)西に西鉄天神大牟田線(井尻駅)と二本の鉄道が南北に走り、昨年は校区の中央を貫通する井尻御供所線、二本の鉄道の下を通る地下道路も完成し交通の利便性も高まり、住みやすい環境になっています。転入希望者も多く、小学校の児童数が増え続け教室の不足が懸念される状況です。
- ②自治協議会は、「みやたけ会」と称し19の町内会と18の団体で組織され、安全で住み良い街づくりを目指しています。通学路での見守り、青パトによるパトロールは勿論、22・23年度は92個の防犯灯をLEDに切り替え、明るい街を実現しました。公民館と自治協は緊密な連携のもと、20年に宮竹ボランティア隊を結成し、自律的で豊かなコミュニティ作りを目指し活発な活動を続けています。最近、中学生がその趣旨に賛同し、高齢者の家の掃除、手伝いをしてくれるまでに成長し周囲を喜ばせています。
- ③校区には九州大学芸術工学部の寮があり、その学生が専門性を生かし、子供達に絵の描き方を指導し、一人ひとりが自分独自の絵本を作れるまで育ててくれています。大学生と自治協の共働は今後も進めていきたいと考えています。校区には現在利用されていない約15,000㎡の広さがある池があり、その有効活用を話し合い、防災、健康・スポーツ、憩いの場としての公園化の実現を目指しています。

## 南区大楠校区

大楠校区自治協議会

石井 大三 会長

(大楠校区自治協議会会長)



- ①大楠校区の地名は、昭和初期の治水工事の際、楠の大木が掘り出されたことに由来しています。当校区は、南区の北に位置しており、都心部にも近く、日常生活は至便な地域となっています。  
現在22の町内会があり、人口は約9,500人、世帯数は約6,200世帯です。なお、単身向けマンション等が多いことから、単身世帯の割合が南区で最も高くなっています。(大楠71.9%。南区平均40.3%)
- ②自治協議会は、「結いのまち大楠」をスローガンにまちづくりに取り組んでいます。  
毎年実施している夏祭り及び体育祭により校区住民の融和を図るとともに、防災訓練又は防災研修の実施、今年度からは高齢者への町内会長や民生委員の連絡先が記入された「緊急カード」の配布を行うなど、校区住民の安全・安心にも努めています。また、地域ぐるみの健康づくりの推進を図るため、健康チェック、体力測定、専門医からのアドバイス等を行う「健康フェア」も校区独自に毎年実施しています。
- ③単身世帯の人の町内会未加入、地域行事等の不参加等が校区の大きな課題です。  
いっしょに地域で生活する「仲間」として、地域・校区を理解してもらうとともに、まちづくりにも参画してもらえるよう努力していきたいと思えます。  
今後とも、思いやりの気持ちを持ち、お互い支えあって生活する「結いのまち」の実現に向け、取り組んでまいります。

## 城南区田島校区

田島校区自治協議会

野見山 幹司 会長

(田島校区自治協議会会長)



- ①田島校区は樋井川の西側に位置し、ゆるやかな丘陵地帯の住宅街が中心です。商業化は進んでおらず、安定した住宅環境が保たれています。校区には福岡市無形民俗文化財指定を受けた「田島神楽」を継承する田島八幡神社があり、歴史の長さを物語っています。校区内には昔からの地元住民が多い一方、公務員宿舎があり新旧入り混じった住民層となっており、人口10,618人、世帯数4,839世帯、高齢化率20%と高齢化が進んでいます。
- ②自治協議会は、22の町内会・自治会と地域で活動を行う13団体で構成され、各種団体はそれぞれの立場で、高齢者の見守り、子どもの通学路での見守り、「食育推進計画」に重点をおいた健康づくりなど、明るく住みよいまちづくりに取り組んでいます。校区の重要課題である防災・防犯については校区全体で取り組んだ結果、住民の安心・安全への意識も高まり、活動の成果を少しずつ上げています。また、樋井川清掃などの環境美化活動、文化祭、夏祭り、どんと焼き等を行い、地域住民の交流に力を入れています。
- ③今後、ますます高齢化が進む中、地域のコミュニティ活性化につながる夏祭りや運動会などの行事に取り組み、多くの人に参加することで絆の大切さを再確認してもらえるよう、住みよいまちづくりのため日々努力していきます。

## 早良区田隈校区

田隈校区自治協議会

松岡 勇一 会長

(田隈校区自治協議会会長)



- ①田隈校区は、南北に長い早良区のほぼ中央に位置しています。校区の東側に、国道263号線、北側には都市高速道路と外環状線が走っています。田隈校区は、野芥1丁目から3丁目、田隈1丁目から3丁目の10町で組織されています。人口は平成23年12月末現在、3,548世帯、7,762人となっています。
- ②田隈校区自治協議会は、自治会長、町内会長12名と各種団体代表者6名計18名の理事、相談役2名で構成されています。自治協の年間行事は、「人尊協設立記念行事」「夏祭り」「運動会」「ふれあいハイキング」「三世代交流グラウンドゴルフ」等を実施しています。特に力を注いでいる人尊協設立記念行事で、毎年7月1日から1週間を設定して田隈中学校、田隈小学校の児童生徒によるポスター、標語の展示を始め、「記念講演会」「フィールドワーク研修会の報告」劇団田隈塾による「人権劇」を田隈まちづくり館、公民館、公民館サークルの応援も得て盛大に開催しています。
- ③「思いやり、心はぐくむ、ふるさと田隈」を目指して、各町別「人権を考えるつどい」で田隈校区人尊協23年のあゆみについて学習すること、校区全住民による校区事業を推進することに力を注いでいきたいと考えています。